

北海道別海高等学校の行動計画(アクションプラン) Part 2

全国の農業高校の行動計画		学校において平成28年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I 持続可能な循環型社会の実現に向けて農業教育と環境教育を推進し、地域の先進的なエコロジカルアグリハイスクールを目指します。	①環境保全型農業を推進する農業教育を実践します。	(1)家畜ふん尿の適正な処理を学び、環境調和型酪農経営の推進を目指す。 (2)バイオマス資源を栽培や飼育に活用する。 (3)基幹産業である酪農と漁業が共存出来る学習を進める。	B A A	ホームプロジェクトを活用した調査研究の実施(酪農) 有機質肥料の野菜栽培への利用(野菜) 農業と環境における環境学習と地域理解の授業実践(教科)
	②自然環境保全などの環境教育を推進します。	(1)植樹事業への積極的な参加を奨励する。 (2)広葉樹の苗木生産を進める。	A A	北海道開発局、風連湖流入河川連絡協議会と連携をとり積極的に植樹活動に取り組む(実習部・農業クラブ) 学校農場や簡易資材を用いて広葉樹苗の生産に取り組む(実習部)
II 農業に関する基本的な技術や経営能力、倫理観をもった将来のスペシャリストを育成します。	③農業の担い手を育成します。	(1)プロジェクト学習を強化し、酪農後継者・酪農関連産業従事者の育成に努める。 (2)ホームプロジェクトを取り入れ学習の深化を図る。 (3)農業クラブ活動を通じ知識や技術の習得を図る。	B B B	酪農経営コースによる専門性の高い教科学習の取組(酪農・教科) 事前指導、巡回指導、事後指導の一体化(酪農) 農業技術検定3級を50%以上取得、1名以上2級取得、畜産共進会への参加(教科・酪農)
	④食の安全・安心教育を徹底します。	(1)安全・安心な生産物を提供する。 (2)有機物を活かし、低農薬栽培に取り組む。 (3)食品衛生に配慮した学習環境で安全な食品加工技術を学ばせる。	B B B	栽培履歴・加工表示の作成(野菜・食品製造) 減農薬・無農薬栽培への取組(野菜) 食品衛生責任者講習会の実施、各種加工マニュアルの整備(加工)
III 地域貢献、地域連携を推進し、地域農業の発展に努めます。	⑤地産地消を推進するとともに、地域の伝統文化の継承に努めます。	(1)高品質な地域商品を開発する。 (2)町内各施設と連携を図り、より実践的な経営感覚や酪農技術を身につける。 (3)委託実習を通じ広い視野を持った地域人材を育成する。	A A A	施設野菜の無農薬栽培への挑戦(野菜) 酪農研修牧場での搾乳実習・農業機械実習の実施(酪農) 別海町総合畜産共進会への参加(教科・酪農) 別海町内委託実習の実施(酪農)
	⑥産業界や大学等との連携を強化します。	(1)大学や企業と連携して取組を通して教員の実力を高めるとともに、外部講師招聘によって学習の幅を広げる。 (2)インターンシップの取組を推進し、生徒の進路意識の高揚と職場開拓を更に進める。 (3)資格取得を奨励し、実践的な能力を養う。	A A A	大学・企業とタイアップした講演会の実施(酪農・教科) 町内企業でのインターンシップへの取組(課題研究) 資格取得への積極的な働きかけの実施(実習部)
IV 農業教育の普及、奨励、支援を行います。	⑦すべての児童・生徒に対して、農業教育の普及活動を実践します。	(1)生命とのふれ合いの場(農場開放・食農教育等)を提供する。 (2)園芸講座を定期的開催する。 (3)ふれあい農園を実施する。	A A A	中学生への学校圃場の開放(実習部) J A道東あさひ女性部対象の園芸講座の実施(実習部) 幼稚園児とのジャガイモ交流事業の実施(農業クラブ)
	⑧すべての人に対して、農業に対する関心と理解が深まる活動を行います。	(1)農業の持つ教育力で住み良い地域環境づくりを推進する。 (2)小・中学生への出前授業を行い、農業に対する関心興味を高める。	A A	幼稚園と連携した食育教育の実施(農業クラブ) 別海町内の小中学校への出前授業の実施・受入(実習部)
V 東日本大震災からの農業の復興を支援し、自然災害による被害の軽減に努める人材を育成します。	⑨自然災害による被害の軽減や自然エネルギーの利用についての学習を推進します。	(1)自然災害の大きさとそれに伴う被害について学習する。 (2)自然の持つエネルギーの偉大さを知る。	B B	自然の持つエネルギーについて理解し、そのもたらす災害や被害について学習する(教科) 私達の生活が自然と密接に結びついていることを、授業や実習を通して学習する(教科)
	⑩東日本大震災で被災した農業高校・生徒を支援します。	(1)被災地の状況を知り、私達が何を出来るのかを考えさせ行動に移せるよう支援する。	B	ボランティア局との連携を図る。 農業クラブ活動をとおした支援活動を行う。